

The background of the entire page is a soft-focus image of cherry blossoms in full bloom, with light pink petals and dark brown branches against a clear blue sky. A central vertical strip shows a sharper, more detailed view of the blossoms.

---

# 設立30周年記念誌

---

つくば市シルバー人材センター

# 目次 Contents

## ご挨拶

- 1 | (公社)つくば市シルバー人材センター理事長——尾台 昌治

## 祝 辞

- 2 | つくば市長——五十嵐 立青  
3 | つくば市議会議長——小久保 貴史  
4 | (公社)茨城県シルバー人材センター連合会会長——綿拔 剛  
5 | (公社)つくば市シルバー人材センター——副理事長・理事・監事  
9 | お客様からのお祝いメッセージ——企業・個人

## 設立30周年記念式典

- 13 | 表彰者 特別表彰・会員表彰  
14 | 設立30周年記念講演  
16 | 式典の様様  
17 | 記念催事

## つくば市シルバー人材センター(SC)30年のあゆみ

- 18 | 年表 (2000年～2021年)

## 会員の活動

- 25 | 組織図・定時総会  
26 | 理事会  
28 | 部会・委員会  
34 | 地区活動・ボランティア活動  
36 | 技能講習会  
38 | 会員の就業  
43 | 独自事業 子育て支援ルーム「きずな」・自転車事業部

## 資 料

- 45 | つくば市シルバー人材センター 10周年までの足跡  
46 | 荃崎シルバー人材センターのあゆみ  
47 | データで見るつくば市シルバー人材センターの30年  
50 | 受注内訳・就業実績と会員数の推移・無事故を目指して  
53 | 「シルバーニュース」「広報誌きずな」「事務局だより」  
54 | 歴代役員一覧

## 編集後記



公益社団法人つくば市  
シルバー人材センター  
理事長

## 尾台 昌治

## 設立30周年を迎えて

つくば市シルバー人材センターが、おかげさまで設立30周年の記念すべき節目を迎えることができましたことに、会員の皆様とともに心からお祝いをしたいと思います。つくば市を始め、関係各位、会員の皆様方の努力、ご支援の賜物であり衷心よりお礼申し上げます。

シルバー人材センターは、「高齢者がその経験と能力を生かし、働くことを通じて社会に貢献し、生きがいを得ていく機会を確保する」ことを目的に各自治体に設立されました。

当センターは、平成4年2月5日社団法人として設立、当初176名の会員で発足、平成15年4月に荃崎町シルバー人材センターと合併し、平成24年4月から公益社団法人となりました。設立以降、「子育て」、「自転車修理・販売」など独自事業を立ち上げ、会員数、就業実績とも順調に逐次増加し、平成23～24年に会員717名、約4億円近い売り上げを上げるまでに成長しました。これもひとえに、当センターを利用していただき、支えてくださった地域の皆様や関係機関のご支援、会員ひとり一人の努力の賜物と感謝いたします。

しかし、30年の間には、リーマンショックによる経済の低迷、補助金の削減、東日本大震災、さらに65歳定年制導入といった労働環境の変化などがあり、センターの事業にも厳しい時代がありました。そして今日、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「緊急事態宣言」が発せられ、外出の自粛やイベントの中止、各種施設や学校が閉鎖され、センターも就業先の休止などにより就業実績が大幅に減少しました。これまで「当たり前の生活」と思って過ごしてきたことが通じない時代になってきました。

今般、就業先の廃業や業務縮小、「同一労働同一賃金」、「企業における70歳までの雇用の努力義務化」などセンターを取り巻く背景、会員の労働環境が目まぐるしく変動しております。若い人との競争、会員の高齢化が懸念され、収入の面、働く機会の面でも一層厳しくなっています。これまでとは異なる事業や経営体質、より地域に密着した活動が求められ、従来の仕事や活動を見つめ直し、新たな仕事へのチャレンジ、新たな経営システムの構築、会員の希望や技術を生かせる新たな職場の開拓が必要です。

30周年を機に、会員の皆様とともに改めて基本に立ち返り、「地域に寄り添った」、「地域に愛される」つくば市シルバー人材センターを目指さなければなりません。関係各位の一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念してご挨拶とさせていただきます。

# 祝辞



つくば市長

**五十嵐 立青**

## 30周年おめでとうございます

公益社団法人つくば市シルバー人材センターが設立30周年という輝かしい節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、長きにわたり、高齢者の方々が培ってこられた知識や経験、技術を活かした活動により、地域社会の活性化や生きがいづくりに大きな役割を果たしていただいています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、多くの活動が制限され、大変

苦慮されている中で、皆さまにはマスクを製作し寄贈していただくなど、様々なご協力をいただきました。市民のために日々ご尽力いただき、誠にありがとうございます。このたび30周年という大きな節目を迎えられたのも、尾台理事長をはじめ歴代理事長、役員や職員の皆さま、そして何より会員の皆さまのご尽力の賜物であると深く敬意を表します。

人生100年時代を迎える今、つくば市では、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して、自分らしく生きがいを持って暮らせるまちを目指し、市民をはじめ多くの関係機関等とのつながりを力に「ともに創る」市政を前進させていきます。

今後とも、貴センターにおかれましては、会員の皆さまに健康で生き生きと活躍していただき、活力ある地域社会づくりにお力添えをお願いいたします。結びに、公益社団法人つくば市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆さまのご活躍、ご多幸を心から祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

## 30周年おめでとうございます



つくば市議会議員  
小久保 貴史

公益社団法人つくば市シルバー人材センターが設立30周年を迎えられましたことを謹んでお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、平成3年度の設立以来、高齢者の活躍の場を数多く御提供いただき、社会参加による生きがいの増進に多大なる御貢献をいただいております。

このことはひとえに、会員の皆様をはじめ、歴代理事長および役職員と関係者の皆様方の御尽力の賜物と、深く敬意と感謝を申し上げます。

現在、わが国では少子高齢化が急速に進んでおり、高齢者の方々に豊富な知識や経験などを生かして地域社会づくりに携わっていただくことは、ますます重要になってくるものと考えます。会員の皆様には、社会を支える一員として、なお一層御活躍されますことを御期待申し上げます。つくば市議会としましても、議員一丸となって、全ての高齢者の方が自分らしく生き生きと暮らせるまちの実現に向け、支援してまいります。

最後に、公益社団法人つくば市シルバー人材センターが、これからも地域社会に欠かすことのできない存在として、さらなる御発展をされるよう祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



公益社団法人茨城県  
シルバー人材センター  
連合会会長

**綿拔 剛**

## 30周年おめでとうございます

この度、公益社団法人つくば市シルバー人材センターが、設立30周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、平成3年12月に設立されて以来、地域の高齢者の生きがいづくりや、福祉増進に大きな貢献をされてこられました。これもひとえに、歴代の理事長さんをはじめ会員、役職員各位のご尽力の賜物と深く敬意を表する次第でございます。

人生100年時代を迎え、元気な高齢者が地域社会の担い手となって活躍するシルバー事業は、その重要性が再認識されるとともにシルバー人材センターに向けられる期待は大きなものになっています。こうしたなか、貴センターは、市民から好評の植木剪定や草刈りをはじめ、子育て支援一時預かり事業「きずな」やリサイクル自転車修理販売事業など独自事業に熱心に取り組まれておりますことに改めて感謝を申し上げます。

設立30周年を新たな契機としまして、貴センターが地域社会でより一層輝く存在となりますとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## センターの益々の発展を祈念します

副理事長 成島 和子

30周年おめでとうございます。私は2011（平成23）年4月にセンターの会員になり、10年目となります。さまざまな就業体験を通して充実した楽しい時間を過ごしております。仕事以外にもボランティアで、会員の人たちと会員が提供してくれた浴衣生地などで、マスク、布草履、雑巾などを作成して市役所や小学校などに寄付して喜ばれています。現在は副理事長として、微力ながら重責を担わせていただいております。皆様のご支援をいただき、諸先輩が作り上げてきたつくば市シルバー人材センターを発展させていくために努力していきたいと思っております。センターの益々の発展を祈念してお祝いの言葉といたします。

祝辞

## 30年間繋いだ方々に心より感謝

理事 深谷 淳一

30周年記念事業にかかわってみて、改めて先輩会員、役員のご苦勞や努力がわかりました。この30年の歴史は、現在のセンター運営の参考書になっています。30年間繋いだ方々に心より感謝いたします。私は10年ほど前につくば市に転入いたしました。当時は知り合いや友人も少なく、寂しい日々を送っていました。ある日、センターの存在を知り入会しました。今では、職場、役員、同好会、それぞれの仲間と楽しくやっています。つくばに居場所ができた感じです。30周年の節目にあたり、この恩義あるつくば市シルバー人材センターに微力ながら貢献していきたいと思っております。

## 今の時を大切に

理事 薬師寺 晴美

つくば市シルバー人材センター（TSC）はこのたび30周年を迎えましたが、人間の一生に例えれば壮年期に入ったといえます。私は2017（平成29）年4月に入会し、初めての仕事が筑波山麓中腹のお宅の草刈りでした。それからは市内全域が私の仕事場となり、現役時代は野田線を往復する日々でしたから移動は大変でした。また人との関わりでは、現役時代は職場関係者と向こう三軒両隣程度の付き合いでしたから、つくばに住んで40年近くになりますが、つくば市のいわゆる学園地区しかわからない人間が、多くの地元住民や移住者（？）とふれあい、地域の文化歴史を教えていただいたり、同郷の話に花が咲いたり楽しいことも

たくさん経験させてもらっています。厳寒の冬、酷暑の夏、ハチやチャドクガに刺されるなど大変なことも多々ありますが、これら全てシルバー会員になったおかげです。現在理事（事業部長、安全委員会委員長）を拝命していますが、センターを運営していくことの苦勞と責任を痛感しています。TSCを生み出し、揺籃期のTSCを育てた先輩や仲間の方たちに深甚の尊敬と感謝の思いをこめてお礼申し上げます。

## 地域社会に貢献する魅力あるセンターに

理事 小杉 晴彦

私が入会してから、早くも8年半経過しましたが、仕事も請負業務から派遣業務への切り替え、及びコロナ禍による活動の大幅な制限などにより、シルバー事業を取り巻く環境は大幅に変わってきました。しかし、いかなる環境下にあっても、センターは「自主・自立の組織理念」と「共同・共助の事業理念」という2つの基本理念に基づき運営されています。したがって、今後も、この基本理念を元に地域社会に貢献する魅力あるセンターを目指し、かつ、センターの益々の発展をご祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

## 安全第一の職場環境づくりに邁進

理事 武井 義

センターに入会してお世話になってから約4年を経過しました。他都市でのサラリーマンを半世紀、約50年。つくば市において人と接する機会がありませんでしたが、センター事業を通じて諸先輩方、事務局職員の方々の大変なご指導があり、地域社会と密に接することができ、感謝を申し上げます。企業の70歳定年退職制度など、今後ますます高齢化社会が進むなか、より多くのセンターの仲間が健康管理に留意しながら、明るく楽しく就業できますように、理事の一人として、安全第一の職場環境づくりに努力してまいります。

## 技能の向上と改善活動を通して

理事 里信 隆義

コロナ禍にて剪定や草刈りの講習会が長期にわたり中止し、皆さんには不安やご迷惑をおかけしております。コロナの早期終息を願ってやみません。高齢者雇用安定法の改正や高齢化による剪定会員の減少など、今後の就労継続に一抹の不安を感じておりました。近年は会

員の減少が顕著であり、高齢化が身近な問題として迫っている現状でございます。技能の向上と改善活動の強化を通して、センターの益々の発展に寄与できればと存じます。

## 助け合いながら仲良く働いていきたい

理事 大塚 誠

コロナ禍という大変な時代のなかにはありますが、いつまでも社会とつながっていきたくという思いからシルバーに入会して4年。就労先での会員、そしてお客様との挨拶や会話は、社会に参加しているという実感を肌で感じることができ、大いに刺激にも勉強にもなります。人生100年時代が話題になっている昨今、心身ともに健やかで、就業することによりいきがいが充実し活力ある人生を過ごせるように、助け合いながらともに仲良く働いていきたいものです。

## 今後の展開に期す！

理事 土田 禎太郎

30周年を1つの節目として、2050年をターゲットとするつくば市未来構想・戦略プランに加担させていただき、当センターの事業を大いに発展させ、つくば市行政との共存共栄を持続可能としSDGsを通して社会変革をすることが、これからのつくば市シルバー人材センターに課せられた責務であることを肝に銘じて事業を進めるべきであると想う次第です。近年、当センターにおける企業展開はもちろん重要であると同時に、業界が担う社会的責任が問われるシチュエーションとなってきたことを踏まえることが何より重要です。センターのさらなる活躍と躍進を祈念し、お祝いのメッセージといたします。

## 趣味と実益を兼ねた剪定業務で

理事 酒井 清貴

趣味と実益を兼ねた剪定業務により、健康で充実した日々を送らせていただいております。30周年という節目のなか、会員の皆様とともに喜びを分かち合えることは嬉しいことです。しかし、市民の皆様からの受注も増えていくなか、会員数の伸び悩みと安全就業にどう対処していくかが、今後の大きな課題です。

## 時代の転換期です！ 独自事業を立ち上げ乗り越えよう！

監事 山峰 國彦

諸先輩の方々や事務局職員の方々の大変なご努力により今日まで維持されてきましたが、「人生100年時代」を迎えて、「定年延長や再雇用制度」が普及しセンターへの仕事依頼が減少。中国やベトナムに行かずとも、国内にも時給850円前後の円熟した高齢の働き手があることを見直そう。介護予防や認知症予防のための仕事探しではなく、もっと積極的な活用を図る独自事業を開拓すべき時代が到来したと思います。

## 長い経験に培われた知恵や技能を役立てていく

監事 金子 和雄

つくば市シルバー人材センターが設立30周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

センターが高齢者の生きがいを高め、かつそれぞれの方々の経験を生かすことにより高齢者の雇用拡大を図るために発足したことは、近年の高齢社会の推移を見ますと誠に時宜を得たものであったと言えます。センターは設立以来、会員数や就業実績を発展させ各方面から大いに注目されているところであります。この30年間のセンターの活動は、「高年齢者の能力を生かし活力ある地域社会づくりに寄与するもの」として高く評価されています。あわせてこの間のセンター並びに会員各位の長年の努力に深く敬意を表する次第です。長い経験に培われた多くの高齢者の方々の知恵や技能を各方面に役立てていくことは、地域社会にとって必要であり、また大変頼もしいことであると存じます。今後ともセンターの役割や活動に対して一層の期待が持たれているところであります。30年は1つの節目であります。これを機会に会員各位の新たな出発点としていただきたいと存じます。

終わりにセンターの益々の活躍と発展並びに会員各位のご健勝を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉とします。

# お客様からのお祝いメッセージ

## 丁寧な作業に、感謝の一言

株式会社仙台銘板 関東機材センター センター長 駒田 裕之 様

つくば市シルバー人材センターの皆様には、長年にわたり、大変お世話になっております。1つ1つの作業を丁寧に行っていただいていることに加え、これまでの人生で培われた豊富な経験と的確なアドバイスが大変心強く、感謝の一言です。ありがとうございます。これからも末永いお付き合いをお願いするとともに、益々のご活躍を願っております。

## 皆様のおかげで美しくきれいな景観です

オリエンタルモーター株式会社つくば事業所総務部 大井 慎二郎 様

つくば市シルバー人材センターの皆様には、長年にわたり大変お世話になっております。弊社つくば事業所におきましても、日々、守衛業務や所内の清掃、メール便の仕分け、それ以外にも多岐にわたる細かな業務を行っていただいております。大変ありがたく思っております。仕事ぶりも1つ1つ丁寧に行っていただいております。美しくきれいな景観を保つことができているのも皆様のおかげです。これからも益々のご活躍を願っております。

## 預け先の選択肢が増えて心の余裕に！

子育て支援ルームきずなご利用者 藤田 文子 様

娘は1歳の誕生日に「きずな」デビューを果たし、お世話になり始めて3年が経ちました。娘にとって「きずな」は、自分をありのまま受け入れてくれる第二の家庭のようで、「今度いつ行くの？」と聞いてくるほど大好きです。おばあちゃんたちの、実のお孫さんに対するかのような温かくておおらかなやさしさ、それをしっかり感じているからではないでしょうか。スタッフの皆さんは子どもたち一人ひとりの状況を共有し、細かく把握してくださっているのです。親の私としましても実家で子どもを見てもらうような感覚で安心してお願いしています。預け先の選択肢が1つ増えることが心の余裕にもつながっているように感じ、本当にありがたい限りです。「きずな」をまだご存知ない方々にぜひとも知っていただき、地域で必要とされる存在として今後益々発展されますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 自信に満ちていて、楽しさも感じます

豊島 盛様

30周年おめでとうございます。シルバーさんには、ふすまの張替えを2度ほどしていただきました。特に去年の暮れにはふすまの動きまで調整していただき、感謝！感謝！です。また、業務説明、運搬等も大変ていねいで自信に満ちあふれ、楽しさをも感じられました。おかげさまで、私どもも元気をいただきありがとうございました。

## コロナ禍でも変わらないお仕事ぶり

久保 信子様

私どもが剪定と草刈りをお願いするようになって十数年になります。初めてお願いしたとき見違えるような庭になり、草取りは庭だけと思っていた私たちは、家の周りすべてがきれいになっていることに気づきました。体勢を斜めにしなければ通れないほど狭いお隣との境も然りで、夫も私もその丁寧な作業に感動して、事務所にお礼状をお送りしたことを思い出します。ご近所が転勤で遠方に行かれることになりましたが、留守宅の剪定と草取りをお願いになるまでセンターで受けて下さり、その方は大変感謝されていらっしゃいました。

コロナ禍のなか、私たちの日常は大きく変わりましたが、皆様の変わらないお仕事ぶりに元気をいただいています。これからも御身を大切にされ、ご活躍されることをお祈りいたします。

## 会員の皆さんから

### 安心して働け、感謝されるセンターに

大穂地区 中島 肇 会員

私の入会動機は、今まで諸先輩にお願いしていた我が家の庭木の剪定を自分の手でできるようになることでした。荒れた樹木を、“あっ”という間に素晴らしい姿によみがえらせる諸先輩たちの腕前にあこがれたものでした。あれから16年以上が経過、この間大きな事故もなく貴重な体験をさせていただき、未だお世話になっております。これからも、安全に、安心して働け、皆さんに感謝されるシルバー人材センターであり続けるよう、祈念しております。

## 仕事や社会奉仕ができる幸せ

谷田部地区 杉本 信子 会員

70歳まで住んでいた大阪から息子たちに呼び寄せられ、つくばの人になりました。引っ越してきて知り合いがいませんでしたので、これからの長い人生、シルバー人材センターに入会すれば仕事や地区活動を通じて同年代の友人ができるかもの思いでした。入会してもう7年目になります。谷田部地区には女性だけの「なかよし会」があり、右も左もわからなかった私をととても親切にいただき、すばらしい友だちに巡り合うことができました。今は自転車しか乗れませんので、その範囲で草取りの仕事をしています。道具をそろえるのから始まり、夏の炎天下の作業は死ぬかと思いましたが、よき先輩方に助けられて今では楽しく仕事をしています。何もしないで1日家にいるより、仕事に、社会奉仕に出かけられる幸せは、シルバー人材センターの会員になったおかげだと感謝しています。

祝辞

## 多くの先輩方のご尽力を思う

桜地区 小倉 輝子 会員

設立30周年おめでとうございます。地域活動の一環としての設立にあたって多くの先輩方のご尽力を思うとき、現在一会員として働かせていただいていることに感謝し、今後益々のご発展を祈念しております。

## 変化する時代に向けてパワーを結集

荃崎地区 村野 四郎 会員

節目の30周年、先人たちの育成に感謝いたします。これから新しいスタートが始まります。雇用年齢のアップ、団塊世代が後期高齢者に突入、コロナ禍・環境問題など、時代にマッチした対応に向け、会員パワーを結集しましょう。

## 働きながら社会とつながりを

荃崎地区 遠藤 忠 会員

設立30周年おめでとうございます。確定申告時の駐車場の誘導、市内の清掃活動、駐輪場管理業務などで働かせていただいております。60歳を過ぎて働きながら社会と繋がりを持つことができるセンターは、これから益々必要になります。これからも地域に貢献し、発展することを願っております。

## 絆を大切に精進してゆきたい

桜地区 清野 年子 会員

「光陰矢の如し」の諺の通り、時の過ぎ行く速さに本当に驚くばかりです。今後とも健康第一に、先達の方々のご指導を糧に、地域の人々との絆を大切に、精進していきたいと思っております。

## 変化する社会のニーズを捉えた更なる発展を

荃崎地区 川上 誠 会員

シルバー会員になって、新しい仲間との出会いや社会貢献への生きがいを得て、毎日が元気になりました。つくば市は、素晴らしい研究学園の街であり、その地域特性に合った会員の能力を生かし、地域と信頼、会員相互の輪を図り、変化する社会のニーズを捉えたシルバー人材センターの更なる発展を希望しています。

## 社会との繋がりを持っていくことに感謝

桜地区 佐藤 廣雄 会員

定年退職を機に千葉県から当地に移住し、家庭菜園づくり等をしていましたが、物足りなく感じました。そこで当センターに妻とともに会員登録をし、登録と同時に仕事を紹介され現在に至ります。仕事や会員との交流により、社会との繋がりを持っていくことに感謝しています。

## 働く仲間がいて、若い方との会話が有ります

豊里地区 鈴木 三千男 会員

私は会員になってから4年余りになりますが、シルバーのスタッフの方々に親身になって仕事を紹介して頂き感謝しております。勤務は大学図書館ですが、働く仲間がいて、生活習慣も確立し、仕事の経験が生かされ、若い方との会話が有り、本当にありがたく思っております。シルバー人材センターが今後益々発展していくことを願って止みません。

## 特別表彰

佐藤 淳      寺嶋 恵之      中条 孝  
 藤田 清信      桜井 廻子

※在籍20年以上かつ年齢85歳以上  
 (敬称略)

## 会員表彰

中島 利男 伊藤 有紀 久保田 清子 座馬 孝子 寺田 清 井上 明代  
 別所 隆 大野 保江 田畑 与市 橋本 巖 根本 英雄 野田 勇 稲葉 宣夫  
 矢口 小四郎 金井 久子 鈴木 政明 秋山 榮子 金塚 千鶴子 亀山 みち  
 岡田 征男 河原 章 岡野 一民 飯村 侑夫 金野 龍一 川村 房枝  
 東郷 操 橋詰 智 渡辺 幸子

※在籍15年以上かつ年齢80歳以上  
 (敬称略)



### 表彰者を代表しての謝辞

特別表彰受賞者 **佐藤 淳** 会員

つくば市シルバー人材センター 30周年おめでとうございます。表彰を受けた33名を代表して感謝とお礼を申し上げます。設立30周年記念にあたり表彰を受けましたこと、心から嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。

顧みますれば、会員となり長い年月が過ぎました。老後の生き甲斐を与えていただき、楽しく働くことができました。表彰に値するようなことは何ひとつ思い当たりませんが、役員として組織運営に多少なりとも貢献できたとすれば、会員の皆様のご指導ご協力によるものと感謝申し上げます。

入会后20年余が過ぎましたが、今後も楽しく働きながらセンターの発展に少しでも寄与できればと念願しております。最後になりますが、センターの今後の益々の発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、お礼の言葉に代えさせていただきます。まことにありがとうございます。

## 設立30周年記念講演

# —人生100年時代に仕事をする意味— 健康・働く・役に立つことが大事



諏訪中央病院名誉院長、地域包括ケア研究所所長

**鎌田 實 様**

### 《プロフィール》

東京医科歯科大学医学部卒業後、諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり赤字病院を再生。地域包括ケアの先駆けを作った。チェルノブイリ、イラクへの国際医療支援、全国被災地支援にも力を注ぐ。

現在、諏訪中央病院名誉院長、日本チェルノブイリ連帯基金理事長、日本イラクメディカルネット代表、地域包括ケア研究所所長。

写真・プロフィール：鎌田實オフィシャルウェブサイト

<http://www.kamataminoru.com/index.html>



## 式典の様様



尾台昌治理事長の挨拶



五十嵐立青つくば市長の祝辞



小久保貴史つくば市市議会議長の祝辞



綿抜剛茨城県シルバー人材センター連合会会長の祝辞



会員特別表彰授与



30周年記念式典

# 記念催事

設立30周年



会員の作品展示



小物製品の販売



あおぞら市場野菜販売



筑波山ガマの油売りの口上



南京玉すだれ



吉瀬ばやし

# つくば市シルバー人材センター(SC)30年のあゆみ

1992(平成4)年 社団法人設立、2001(平成13)年 設立10周年記念式典・10周年記念誌「あゆみ」発行

世界と日本	つくば市のできごと	つくば市シルバー人材センター(SC)の事業報告より抜粋
<p><b>2001(平成13)年</b> 中央省庁再編 ブッシュ大統領就任 大阪教育大附属池田小学校事件</p> <p>9.11アメリカ同時多発テロ アメリカ軍アフガニスタンに侵攻</p>	<p>2月 常磐新線(鉄道)の名称「つくばエクスプレス(TX)」に決定 3月31日現在、つくば市の60歳以上人口27,194名のうちSC入会率1.4% 11月 つくば市・荃崎町合併協定調印式 11月「市民活動センター」オープン</p>	<p>●<b>2001(平成13)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルメット・安全メガネを支給し着用を義務付け。</li> <li>組織運営に係る専門部会・委員会として、総務部会、事業部会、広報部会、安全委員会、ランク審査委員会を組織。</li> <li>地区委員会：SCの発展・充実に寄与する会員の自主的・自発的な組織として5地区に設置。一部の地域で植栽班等を設置。</li> <li>会員親睦旅行(いわき湯本温泉)。</li> <li>リサイクル自転車販売事業を今鹿島作業所(第3土曜日)と桜庁舎事務所(平日)で開催。</li> <li>●<b>アダプト・ア・パーク始まる(トピック①参照)</b>。 ← <b>TOPIC</b></li> </ul>
<p><b>2002(平成14)年</b> 北朝鮮拉致被害者5人帰国</p>	<p>4月 つくば市SCと荃崎町SC合併 福祉循環バスを「のりのりバス」と改め本格運行開始 5月 荃崎町SC「定期総会および解散式典」 5月「つくばりんりんロード」全線開通</p> <p>7月 TX 開通</p> <p>11月 荃崎町と合併</p>	<p>●<b>2002(平成14)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荃崎町SC財政の承認報告。</li> <li>会員大幅に増加。新会員の就業場所確保、各種講習会で技能向上を図る。</li> <li>安全委員会による大田原市SC視察。</li> <li>常陽銀行手数料有料化、破碎機購入計画、剪定枝処理料改正、役員報酬・費用弁償規程等の改定、自動車等の購入等を論議。</li> <li>各地区懇談会ではゴミ処理問題を討議。</li> <li>独自事業：リサイクル自転車販売。</li> <li>つくば市SCと荃崎町SCの合併協議会が開かれ、協定書に調印。</li> <li>荃崎町SCの合併に伴い、地区委員会が6地区になった。</li> <li>入会希望者の審査を「入会審査会」と名称変更し毎月第3木曜日に開催する。</li> <li>懲戒審査委員会の設置要綱を設定。</li> </ul>
<p><b>2003(平成15)年</b> イラク戦争開戦 郵政事業庁が日本郵政公社に移管 地方自治法改正</p>	<p>指定管理者制度導入(地方自治法改正)により、建物管理分野が民間業者委託へ</p> <p>11月 男女共同参画宣言</p>	<p>●<b>2003(平成15)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荃崎町SCとの合併に伴う問題について議論。</li> <li>独自事業：<b>グリーンサイクル事業(トピック②参照)</b>としての沼崎処理場新設による剪定枝葉堆肥化の環境保全事業開始。</li> <li>潮来市SC視察。理事・監事研修会をいわき市SC視察。</li> <li>植木・草刈・草取り懇談会で沼崎処理場ゴミ搬入手続き、処理料金協議。</li> <li>独自事業：リサイクル自転車販売は販売不振と会員不足で15年8月で休止。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>TOPIC</b></p>
<p><b>2004(平成16)年</b> 自衛隊イラク派遣 スマトラ沖地震</p> <p>高齢者雇用安定法改正(2006年4月施行)</p>	<p>4月 庁舎建物内全面禁煙 4月 市民と行政がともに施策をつくる手続き制度(パブリックコメント)導入 9月 TX 関連まちづくり活性化推進本部設置</p>	<p>●<b>2004(平成16)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新役員が、経営者としての自覚と認識を全シ協指導者を招聘して学習、また役員の任務のあり方を県シ協主催の研修会で学習。</li> <li>佐倉市SC・稲城市SC・取手市SCを視察。</li> <li>沼崎処理場の運営方法や改善を協議。16年度で廃止を決定。</li> <li>入会希望者に健康診断書提出義務化。</li> <li>独自事業：グリーンサイクル事業の取組を廃止。</li> </ul>

世界と日本	つくば市のできごと	つくば市シルバー人材センター（SC）の事業報告より抜粋
<p><b>2005(平成17)年</b> 京都議定書発効 JR福知山線脱線事故</p>	<p>6月 つくば市ふれあいプラザオープン（初の指定管理者導入） 8月 TX開業 12月 つくば市の人口20万人突破（国勢調査）</p>	<p>●<b>2005(平成17)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入会2年目以上の会員を対象にリフレッシュ講習会、施設管理員・清掃作業員を対象に「接客・接遇研修会」を2日間開催。</li> <li>・毎月第2木曜日に入会説明会、第3木曜日に入会審査会開催。</li> <li>・沼崎処理場の整理と借地返還。</li> <li>・石岡地方広域SC視察、各種独自事業を学ぶ。</li> <li>・公平な就業分配のためモデル剪定班を編成し、職種ごとに料金改定。さらに草刈りにランクを設定。</li> <li>・年2回安全パトロール実施。傷害事故発生時は現場立合い検証。</li> <li>・事故件数27件で県内ワースト1となる。</li> <li>・会費・保険料・互助会費徴収を口座引き落としにする。</li> </ul>
<p><b>2006(平成18)年</b> 国が「再チャレンジ支援総合プラン」をスタート</p> <p>耐震偽装問題 ライブドア強制捜査</p>	<p>4月 市のコミュニティバス「つくバス」運行開始 8月 まつりつくば2006開催 11月 つくば男・女みんなの集い2006開催</p>	<p>●<b>2006(平成18)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TX開通に伴って受注増や派遣会社からの移送業務急増。</li> <li>・女性理事中心の女性部会設置、女性会員の就業開拓や独自事業推進。</li> <li>・「まつりつくば2006」で独自に半纏を作り参加。</li> <li>・指定管理者制度について、市民研修センター、市民活動センターを申請したが選定を外れる。</li> <li>・長期基本計画第1期活動計画（平成16年～平成18年）終了</li> <li>・春日部市SC、新座市SCを視察。</li> </ul>
<p><b>2007(平成19)年</b> 2007年問題（団塊世代の定年退職） 食品偽装事件 社会保険庁の年金記録問題</p>	<p>4月 市民活動センター・市民研修センターに指定管理者導入 8月 まつりつくば2007開催 11月 つくば市制20周年記念式典開催</p>	<p>●<b>2007(平成19)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術群（教育指導・経理事務等）、事務群、管理群、一般作業群が前年を上回り、決算では全体的に5.81%増加で前年度対比で約19,300千円伸びた。</li> <li>・納期管理の円滑化を論議。</li> <li>・事故数は30件から10件に激減。</li> <li>・指定管理者制度で15公園公募があったが施設規模の問題で応募中止。</li> <li>・つくば市自転車駐輪場に的を絞る事業計画。</li> <li>・「まつりつくば2007」参加(女性部会：手工芸品販売、総務部会：スライム作り、自転車部：中古自転車販売、ボール釣り)。</li> </ul>

TOPIC

トピック①：アダプト・ア・パーク

2001（平成13）年度 アダプト・ア・パークとして松見公園のゴミ拾いを開始。毎月、各地区が交代で実施。  
2002（平成14）年度 毎月、反町の森公園の環境美化運動を各地区交代で実施。  
2004（平成16）年度 各地区内の公園を地区会員が中心となって環境美化運動を実施。  
以後、現在まで市内7～17公園で毎年度センター合計で12～19回実施。

TOPIC

トピック②：グリーンサイクル事業

独自事業：環境保全事業にも取り組み、2003（平成15）年8月よりグリーンサイクル事業として沼尻処理場を新設し、剪定枝葉をチップにして堆肥化する事業を開始した。  
しかし、グリーンサイクル事業に対する補助金の削減、機械・機材の故障などによって、センター運営において予算的に極めて困難と判断し、2004（平成16）年12月に営業を中止し、2004（平成16）年度をもって廃止とした。

世界と日本	つくば市のできごと	つくば市シルバー人材センター（SC）の事業報告より抜粋
<p><b>2008(平成20)年</b> リーマンショックから世界同時不況 日経平均株価、バブル後最安値（7,000円割れ） 民法改正、新公益法人制度スタート</p>	<p>2月 つくば市新市庁舎起工式</p>	<p>●<b>2008(平成20)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設立以来14年、市補助金が減額傾向で財政状況厳しくなる。</li> <li>受注契約金額は前年度比600万増、受注件数は約300件減。</li> <li>管理分野の業務開拓が課題。</li> <li>会員の入会促進で前年度より45名増加。</li> <li>安全意識強化で事故件数8件（重篤事故1件）に減少。</li> <li>同一場所での長期就業防止を図り、規程の準備。</li> <li>技能実技講習による新規判定基準を設け、草刈り技能審査開始。</li> </ul>
<p><b>2009(平成21)年</b> オバマ大統領就任 自民党から民主党に政権交代</p>	<p>3月 つくば市高齢者福祉計画策定</p> <p>6月 新庁舎開庁に伴う現庁舎利活用方針策定</p> <p>11月 つくばスタイル縁日2009開催</p>	<p>●<b>2009(平成21)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政刷新会議（事業仕分け）により補助金減額。</li> <li>平成21年来の景気後退で受注件数は増加も、契約金額は減少。</li> <li>「まつりつくば」やポスティング活動で会員42名増加。</li> <li>安全パトロール実施により事故が5件に減少（重篤事故なし）。</li> <li>企画提案型事業「教育と子育て」の運営で理科の出前教室とつくば市子育て支援センターで子どもたちとお母さんを支援。</li> <li>長期就業者の交代に対し21年4月から規程に基づき運用開始。</li> <li>剪定・草刈班長の交代制で組織活性化と仕事配分公平化を図る。</li> <li>配分金単価の見直し・表具、表装作業単価の改正を行う。</li> <li><b>配分金遅配の問題が生じる(トピック③参照) ←TOPIC</b></li> <li>高齢者お助け隊が「すけっとくん」(トピック④参照)と事業マッチ、105件受注。</li> </ul>
<p><b>2010(平成22)年</b> 長引く景気の低迷</p>	<p>5月 つくば市新庁舎開庁</p> <p>6月 「広報つくば」各戸配布開始</p> <p>つくば駅前広場リニューアルオープン</p>	<p>●<b>2010(平成22)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業仕分けにより、昨年に続き補助金減額。</li> <li>前年度より契約額・契約件数とも若干伸びる。</li> <li>会計事務所による会計月次点検を開始、経営状態を把握。</li> <li>経費削減、緊急雇用対策事業の受注の増加等により、22年度の経営は黒字に転換。</li> <li>自転車修理販売事業立上げ。市内児童館で科学実験等出前事業。</li> <li>「作業までの待ち時間短縮」「すぐやる班の育成」を指向。</li> <li>新公益法人移行（平成24年4月2日）に向け認定申請、公益法人移行支援プロジェクトチーム立上げ。</li> <li>事務費を7%から9%にする。</li> <li>自転車修理・中古自転車販事業売立上げ、事業の目途が立つ。</li> </ul>

### TOPIC▶ トピック③：配分金遅配の問題

- 配分金の遅配は、2009（平成21）年11月より始まった（シルバーニュースVol.50 No.4 参照）。  
2004（平成16）年に3,600万円あった補助金が、2007（平成19）年1,992万円と、3年間で約1,610万円の減額となったことが原因と考えられる。この間、事務費収入はほぼ横ばいで推移し、人件費削減等の経営改善がなされないまま、備蓄していた引当金を運用した放漫経営により赤字経営は顕在化していた。2009（平成21）年に発生したリーマンショックによってこの赤字経営の実態が表面化し、同年11月には約800万円の累積赤字となり、ついに遅配。新聞報道で取り上げられる事態に至った。
- 2009（平成21）年度より経営改善を実施した。  
役員報酬、職員諸手当、事業費をカットし、全理事による就業開拓による改善努力、さらに事務費値上げ、嘱託職員削減によって2010（平成22）年度になって改善効果が現れ、赤字経営を脱し黒字経営に移行した。
- 2011（平成23）年12月に遅配解除した。  
経営改善努力により経営赤字から脱出し、2011（平成23）年12月から通常の支払いとなった。

**TOPIC▶ トピック④：すけっとくんの事業** 市の在宅高齢者福祉助成券事業の1つ。つくば市とセンターが直接結んでいる協定であり、正式名称は「高齢者日常生活支援事業」。75歳以上だけの世帯は助成券を利用することで、センターの作業費用の一部または全てを市に助成してもらえらる制度。令和2年には利用者1,038人、2,767,000円の事業になった。

世界と日本	つくば市のできごと	つくば市シルバー人材センター（SC）の事業報告より抜粋
<p><b>2011(平成23)年</b></p> <p>3月11日東日本大震災 福島第一原子力発電所事故</p>	<p>つくば市は震度6弱</p> <p>4月「つくバス」「つくタク」運行開始</p> <p>6月 つくば環境スタイル、つくば市節電大会開催</p> <p>8月「りんりんつくば 自転車のまちつくば行動計画」策定</p> <p>12月 つくば市が国際戦略総合特区に指定された</p>	<p>●<b>2011(平成23)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>契約額39,960万円と前年に比べ4,610万円伸び（契約件数前年比34件減）。</li> <li>国の緊急雇用対策等で高額契約事業が増加。 <b>TOPIC</b></li> <li>長年の懸案事項だった<b>配分金遅配解除(トピック③参照)</b>。</li> <li>独自事業「自転車修理販売事業」売上げ安定化。</li> <li>長期就業会員（5年間同一施設・就業先）の就業交代開始。</li> <li>定款、例規集ダイジェスト版の作成。</li> <li>公共事業「筑波山イノシシ対策事業」「きれいなまちづくり事業」「震災ゴミ撤去事業」等の緊急雇用対策事業受注で収益増。</li> <li>事業内容の検討：「環境保全対策パトロール」「飼い犬飼養適正普及・啓発推進」。</li> <li>「自転車修理・理科の出前講座」は昨年の2倍受注。</li> <li>「子育て支援事業推進グループ」設置。</li> <li>ランク審査委員会設置要綱、剪定班・草刈り班員ランク判定基準を明確化。</li> </ul>
<p><b>2012(平成24)年</b></p> <p>「65歳までの雇用確保」義務化を目的とした改正案成立 東京スカイツリー開業</p> <p>民主党惨敗で自民党が政権復帰 アベノミクス 緊急雇用対策事業</p>	<p>5月 竜巻発生（筑波地区・大穂地区に甚大な被害）</p> <p>8月 市制25周年記念式典開催</p> <p>10月「つくバス」利用者100万人達成セレモニー</p> <p>12月 つくば男女共同参画会議「つくば男・女（みんな）のつどい2012」開催</p>	<p>●<b>2012(平成24)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公益社団法人としてスタート。</li> <li>国の緊急雇用対策事業、高額契約事業の減少等で事業実績低下。</li> <li>財政基盤確立として月次予算管理・会計月次点検による予算執行の把握を図る。</li> <li>中長期計画の策定</li> <li>広報誌を「シルバーニュース」から「ぎずな」に名称変更。</li> <li>女性会員の就業拡大として市内学童クラブでの就業。</li> <li>「すけっとくん」の配分金単価（案）検討。「すぐやる班」の募集。</li> <li>女性会員の児童クラブでの就業、布草履製作の開始。</li> <li>ランク審査委員会、剪定・草刈り実技技能検定で昇格者多数。</li> </ul>
<p><b>2013(平成25)年</b></p> <p>老齢厚生年金受給開始年齢引き上げ 女性の社会進出・雇用機会拡大、管理職者登用の推進</p>	<p>11月 筑波研究学園都市50周年記念</p>	<p>●<b>2013(平成25)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の緊急雇用創出事業など高額契約事業の減少。</li> <li>公共・民間の新規就業先開拓、受注業務の迅速対応によって就業機会の拡大を図る。</li> <li>中長期計画の策定を継続。</li> <li>就業拡大：農業サポーター、ハウスクリーニング、自転車販売事業に取組む。</li> </ul>
<p><b>2014(平成26)年</b></p> <p>消費税5%から8%へ 65歳以上の高齢者4人に1人 集団的自衛権行使容認の閣議決定 特定秘密法保護法成立</p>	<p>10月 福島県郡山市と友好都市提携協定締結</p>	<p>●<b>2014(平成26)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の緊急雇用創出事業終了で事業実績が前年度を下回る。</li> <li>全シ協より「平成26年度安全就業優秀センター」で表彰。</li> <li><b>筑波大学構内新車自転車販売問題の発生</b> <b>←TOPIC</b> <b>(トピック⑤参照)</b> 「筑波大学構内新車自転車販売事業調査特別委員会」を発足して原因を明らかにし対策を取る。平成27年4月28日付で最終報告。</li> <li>消費税改正に伴う配分金の見直しを行う。</li> <li>子育て支援事業：<b>子育て支援ルーム“ぎずな”の業務開始</b> <b>(トピック⑥参照)</b>。 <b>←TOPIC</b></li> <li>救急用品を貸与し熱中症・蜂対策に。移動式防護ネット貸与。</li> </ul>

世界と日本	つくば市のできごと	つくば市シルバー人材センター（SC）の事業報告より抜粋
<p><b>2015(平成27)年</b> 鬼怒川の氾濫 65歳定年制開始</p>	<p>つくば市の人口が約23万人となり日立市を抜いて県内2位</p>	<p>●<b>2015(平成27)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費増税に伴い、配分金単価および事務費の見直しを行う。</li> <li>65歳定年制開始により60代の入会希望者が減少。</li> <li>理事及び監事候補者選考要綱の一部改正。</li> <li>子育て支援事業では、市外の子どもの受け入れを開始。</li> </ul>
<p><b>2016(平成28)年</b> 熊本地震（最大震度7） 平成28年版高齢社会白書（内閣府）： 日本の総人口は2015（平成27）年10月1日現在 1億2,711万人。65歳以上3,392万人で高齢化率は26.7%。 1億総活躍社会政策を発動</p>	<p>2月「つくばロボットフェスタ」開催 2月 圏央道全線開通 9月 筑波山地域「日本ジオパーク」認定</p>	<p>●<b>2016(平成28)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省『適正就業ガイドライン』による請負・委任から派遣事業への転換によって、件数・金額ともに増加。</li> <li>地区統括部会を組織化し、地域のネットワーク、地域会員の活性化を図る。</li> <li>15件の就業事故発生、交通事故は6件と多発。全会員に自動車任意保険の提出を義務化し、安全パトロールを強化。</li> <li>筑波大学グローバルビレッジコミュニケーションステーションにおいてリサイクル自転車の修理・販売を開始。</li> <li>大穂地区4小学校の新1年生に給食用巾着袋を製作・配布。</li> <li>剪定の部：Aランク昇格者4名、Bランク2名。 草刈りの部：Aランク昇格者12名。</li> </ul>

TOPIC

**トピック⑤：筑波大学構内新車自転車販売問題** 2015（平成27）年度総会資料より

2014（平成26）年3月、事業部会、理事会における協議・検討がなされないまま、理事長（事業部会長兼務）、自転車部員8名、担当職員の判断により、仕入れ補償金を拠出して新車自転車を卸業者・メーカーに400台を発注し、販売する事業を行った。しかし、当初予定したようには販売が進まず、4月の販売台数が193台と低迷。自転車メーカーへの残金支払いと販売に従事した会員の配分金支払いに資金不足が発生した。

このことによって問題が発覚し、2014（平成26）年8月、当時の理事・監事・担当職員が不足資金を拠出し、会員配分金およびシルバー人材センターへの未払金を精算した。売れ残った自転車については、会員や市役所職員への販売、まつりつくば等イベントでの販売、消費者センターでの販売継続、さらに2015（平成27）年4月の筑波大学構内での販売等により、400台を完売した。これによって自転車部員・担当職員の仕入れ拠出金と前理事・担当職員の拠出金を全額返却し、この問題が終結した。

この一連の騒動に対して、「筑波大学新車自転車販売事業調査特別委員会」を設置し、本件発生の経緯、取り組みの問題点が理事会に報告された。

TOPIC

**トピック⑥：独自事業 子育て支援ルームきずな**

2011（平成23）年 女性部会に「子育て支援事業推進グループ」を設置し、水戸市シルバー人材センター視察研修などにより、子育て支援事業の推進を図る。

2014（平成26）年 5月の理事会で子育て支援事業白紙化が議題に。しかし、市長との交渉により設立に向け急遽具体化する。12月1日、国の助成金を受けて子育て支援ルーム“きずな”として谷田部老人福祉センターに開設し、事業開始。

2015（平成27）年 「子育て支援一時預かり」チラシや常陽リビングで利用者募集。NHKニュース放映。

2016（平成28）年 独自事業化。8月、「ばあばの子育て」としてNHKで全国に放映。

2017（平成29）年 一時預かりの子どもの数が増加。茅ヶ崎市社会福祉協議会からの視察。

2018（平成30）年 事業が順調に発展し、年間900人以上となる。

2019（令和 元）年 市外の子ども受入れ開始。保育士（コーディネーター）6名、補助（会員）5名で運営。

2020（令和 2）年 コロナ禍でたびたび休館。

2021（令和 3）年 10月から事業再開。

世界と日本	つくば市のできごと	つくば市シルバー人材センター（SC）の事業報告より抜粋
<p><b>2017(平成29)年</b> トランプ大統領就任 米国と北朝鮮会談 天皇退位特例法成立 森友・加計問題、公文書改竄等で国会紛糾</p>	<p>1月「健康長寿日本一をつくばから」の事業開始1周年 6月「いばらきねりんスポーツ」つくば市大会 11月 つくば市制施行30周年記念式典</p>	<p>●<b>2017(平成29)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「適正就業ガイドライン」の周知徹底で請負・委任事業から派遣事業へ移行が進む。</li> <li>女性会員の加入促進と女性活躍委員会の活性化を図る。</li> <li>規程集チームによる規程集の編集を行う。</li> <li>技能検定で剪定Aランク9名、Bランク9名、草刈Aランク14名が昇格。</li> </ul>
<p><b>2018(平成30)年</b>  米朝首脳会談(史上初)  日産のカルロス・ゴーン会長逮捕  全国シルバー人材センター事業協会「会員100万人達成計画」</p>	<p>2月 つくばSDGsフォーラム、「接続可能都市ヴィジョン」発表  6月 つくば市が「SDGs未来都市」に選定される  8月 まつりつくば2018開催 11月 空き家シンポジウム</p>	<p>●<b>2018(平成30)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嘱託職員の正職員への登用。</li> <li>余剰金の活用を図るために「資産取得等・導入委員会」を設置。</li> <li>2021（令和4）年度に設立30周年と公益法人化10周年を兼ねた記念行事を開催するため、3年間毎年積み立てを開始。</li> <li>乗用草刈機の導入、会議室エアコン、今鹿島作業所機械倉庫への防犯カメラの設置。</li> <li>4m以上の高木の剪定作業の中止。</li> <li>外部講師による「女性のつどい」開催。</li> <li>『例規集第3版』発行、『例規集第4版』に向け各規程の見直しに入る。</li> <li>費用弁償を見直す。</li> <li>広報部会を総務部会の広報委員会にする。</li> <li>女性部会を廃止、女性活躍委員会として事業部会に置く。</li> <li>外部講師を招聘し、安全特別研修会を開催。</li> <li>技能検定により剪定Aランク4名、Bランク6名、草刈2名がAランクに昇格。</li> </ul>
<p><b>2019(令和元年)</b>  5月1日「平成」から「令和」に改元  消費税8%が10%に  少子高齢化・人手不足解消のため「技能実習制度」創設、外国人を雇用  台風・大雨による被害甚大</p>	<p>1月 ボランティアフェスタ in つくば</p>	<p>●<b>2019(令和元年)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに「ゆうゆう（悠々）会員制度」設置。</li> <li>「新入会員送り出し教育研修会」新設。</li> <li>『規程集第4版』『規程集ダイジェスト版』作成。</li> <li>「独自事業規程」「自転車事業部要領」を制定し自転車部との取り決めを行う。</li> <li>空き家・空き地見守りサービスの事業を開始。</li> <li>女性の集いと女性限定入会説明会・審査会を2回開催。</li> <li>スライドによる松、梅の剪定講習。初級者限定の剪定実技と基本講習及び外部講師による机上講習会と講話。</li> <li>「作業前チェックシート」の項目見直しと安全項目を追加。</li> <li>昇格者：剪定の部／Aランク2名、Bランク1名、Cランク7名 草刈の部／Aランク6名。</li> <li>労働省告示37号と「働き方改革」により、大口の請負・委任契約から派遣契約への変更の強化。</li> </ul>



世界と日本	つくば市のできごと	つくば市シルバー人材センター（SC）の事業報告より抜粋
<p><b>2020(令和2)年</b> 『同一労働同一賃金』制度</p> <p>コロナ禍発生 全国非常事態宣言 オリンピック・パラリンピック1年延期 Go Toキャンペーン一時中止</p> <p>2020年度末のSC会員数約69万8,000人。70万人を割る(19年ぶり)</p>	<p>携帯のエリアメールが外出自粛要請に利用可能に</p> <p>4月 市民の提案からフェイスシールドを医療機関に配布</p> <p>6月 自動除菌ロボットの動作テスト</p> <p>7月 豪雨に備えたホットライン訓練</p> <p>つくば市役所の男性育休取得は83.9%、女性管理職の昇進が増加</p> <p>自動運転車とパーソナルモビリティの走行実証実験</p>	<p><b>●2020(令和2)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響により、理事会、各種委員会、研修会の中止、就業先の施設や事務所の閉鎖相次ぐ。</li> <li>剪定・草刈り業務の受注減で運営に大きな影響が出る。</li> <li>11月に男性1名新規採用。3月、職員2名退職。</li> <li>請負・委任事業から派遣事業への移行により契約金が上がり、契約不成立となり会員の失業と収益減になる。</li> <li>女性会員自宅でマスク・雑巾を製作、市役所や学校に寄贈。</li> <li>コロナ禍に加え7月の長雨、派遣事業への移行等で収益減少、さらにコロナ感染防止対策関連の出費により事業収支が悪化。</li> <li>総会を「書面決議」により市民ホールとよさとにて開催。</li> <li>中期計画（2020年～2025年）を作成。</li> <li>作業までの待ち時間短縮や後継者育成を検討。</li> <li>剪定・草刈講習や技能検定はコロナ禍で中止。</li> <li>県シ運つくば市事務所衛生委員会規程を制定。</li> <li>空き家・空き地見守りサービスのチラシを市と共同で遠隔地の空家・空地所有者に配布。</li> <li>コロナ禍で地区の忘年会や新年会などが中止となった。</li> </ul>
<p><b>2021(令和3)年</b> 65歳までの雇用義務、70歳までの雇用努力義務施行</p> <p>コロナ禍により緊急事態宣言</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催</p> <p>北京冬期オリンピック・パラリンピック開催</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻</p>	<p>自動運転車とパーソナルモビリティの走行実証実験</p>	<p><b>●2021(令和3)年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総会を「書面決議」により大穂交流センター会議室にて開催。</li> <li><b>自転車部:大学構内の作業場にプレハブ施設設置(トピック⑦参照)。</b> ← <b>TOPIC</b></li> <li>コロナ禍で休業・休館が増加。</li> <li>女性会員の自宅で雑巾を製作、小学校5校に寄贈。</li> <li>剪定・草刈講習や技能検定を今年度も中止、高齢化と後継者育成が問題となる。</li> <li>ゴミ処分場の改修で剪定枝、刈り取り雑草等の引き取りと運搬業務がなくなり収益減となる。</li> <li>2022年4月より成人年齢が18歳となる。</li> </ul>

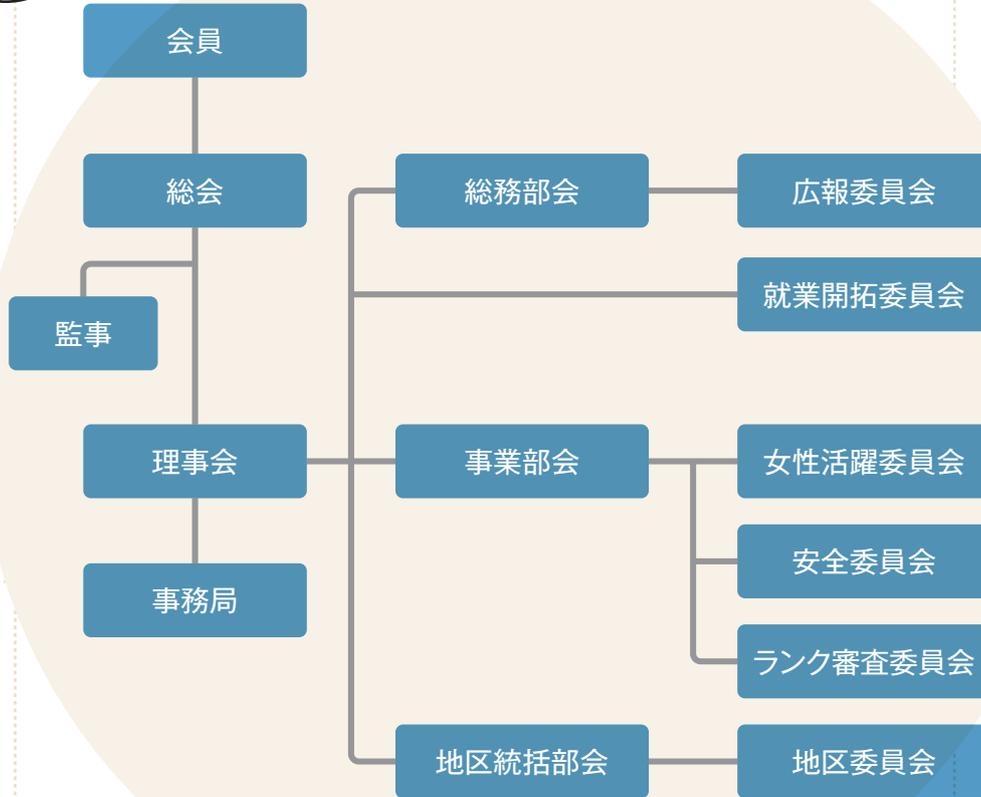
**TOPIC**

**トピック⑦：独自事業／自転車部「リサイクル自転車修理・販売事業」について**

- 1996(平成 8)年 リサイクル自転車事業視察（鹿嶋市シルバー人材センター）
- 1997(平成 9)年 リサイクル自転車の定期販売を今鹿島作業場で開始。
- 2001(平成13)年 リサイクル自転車販売事業を独自事業として、今鹿島作業所（第3土曜日）と桜庁舎事務所（平日）で開催
- 2003(平成15)年 リサイクル自転車販売を販売不振と会員不足で休止。
- 2010(平成22)年 自転車修理・中古自転車販売事業立ち上げ、11月ひたちなか市SCの自転車再生事業を視察。
- 2011(平成23)年 1月に「自転車修理・中古自転車修理販売事業」を開始。3月東日本大震災。
- 2013(平成25)年 筑波大学構内に自転車修理作業所開設。筑波大学構内新車自転車販売問題発生（トピック⑤参照）。
- 2015(平成27)年 つくば市管路輸送センター駐車倉庫から11月現在の作業所を開設（市消費者センター）
- 2016(平成28)年 筑波大グローバルビレッジコミュニケーションステーション内で自転車修理を開始。
- 2019(令和 元)年 独自事業見直しを行い、事業の安定化を推進。
- 2020(令和 2)年 自転車事業部の設置要領制定。
- 2021(令和 3)年 大学構内の作業所にプレハブの作業場を設置。

# 会員の活動

## 組織図



2022（令和4）年5月現在

## 定時総会

理事及び監事の選任や解任、定款の変更等、センター運営の根幹をすべての正会員及び特別会員で決定します。



総会／会員出席



総会／書面決議

## 理事会

事務局を運営し、新規入会者の審査や、各種部会・委員会の活動報告等を確認する等、センター全体を統括しています。



理事会



入会審査会



普及啓発月間



ポスティング



事務局

# 女性会員拡大に力

## 県シルバー人材センター

県シルバー人材センター連合会が、県内各センターの女性会員獲得に力を入れている。高齢者の生きがいづくりを促進しようと働く場を提供してきたが、近年、定年の延長や会員の高齢化などにより、会員数が減少しており、女性の労働力を取り戻す必要があるためだ。本県の女性会員は平均年齢70歳で、同連合会では、新規女性会員向けセミナーや地区を横断した愛好会の開催など新たな取り組みに着手し、会員拡大を図っている。

### ■アロマ講座

「女性会員は、外の仕事はやりたがらない、退職後は、現状や課題を共有しよう」と意識を変えた。新規女性会員向けセミナーは昨年10月下旬、水戸市や岡原町で開催された会員拡大



女性向けのイベント企画や市販品の小物製作に取り組み、県内各センターの女性会員拡大に力を入れている。

## セミナーで魅力伝える



茨城など5地区と茨大、同11月中旬の開催予定で7セミナーでは業務紹介に加え、女性向けに「アロマ＆ハーブ」講座を企画。そのかいあってか、参加人数が7人が入会した。セミナーは今後も順次、抽出して開催する。

2019年3月末現在の会員数は全体の33.8%にあたり、本県は31.5%。同連合会では女性が関心を持つような取り組みの充実を継続して図っていく。

### ■退会を抑制

入会を促すだけでなく、退会をいかに少なく抑えることも重要になる。

同連合会によると、19年度の全国の会員数は71万5500人で、前年比1.9%

8人増と10年ぶりに増加に転じた。一方、県内会員数は1万6588人で昨18年1人増。本年度も昨年11月末現在、入会者1万900人を退会者1万888人が上回る状況だ。

19年度の主な退会理由は「病気」が28%、「金銭未納」が13%、「活動」が12.6%など。

### ■「ハッピー」

会員増に向けた取り組みが実を結んだ例もある。つくば市シルバー人材セ

ンターは、11人の女性会員が中心となり化粧講座など女性向けのイベント開催や、自費、エプロンといった小物の製作販売を行う。趣向を凝らした継続的な取り組みが同センターの知名度を高めるとともに退会を抑制することにもつながった。女性会員は昨年11月末現在、212人で、16年度の1.36倍となった。

昨年12月8日には同センターの男性会員を講師として開催された。



小学校へ入学祝を寄贈

入学祝として素敵なプレゼントをいただきまして、ありがとうございます。おかげさまで六月より息子も小学校へ通学するようになりました。ほっとしております。まだまだコロナの影響で先が見えない状況になっておりますが、明るい未来の一步を子どもたちと一緒に歩んでいきたいと思います。ありがとうございます。

御担当者様  
つくば市立奇小一年

新入生保護者からお礼状

## 総務部会

会員向けの研修会や規程集の見直し等、および広報委員会を統括して広報誌「きずな」等の発行、センター全体に関わる事案を取り扱っています。



駅でのポケットティッシュ配布



「広報誌きずな」のインタビュー



女性会員向けスマホ研修



規程集（右）とダイジェスト版



リフレッシュ講習会



受講者によるディスカッション

## 事業部会

会員に適した仕事を開拓および提供し、そのための研修や能力開発を行います。  
さらに安全委員会、女性活躍委員会、ランク審査委員会を統括しています。



剪定講習会



クリーニング講習会



草刈り機取扱い講習会



安全パトロール／作業中のチェック



安全パトロール／聞き取り調査

## 地区統括部会

各地区の会員の拡大と活性化、そして地区の就業拡大を図り、各種就業相談を行い、会員の親睦と教養を深めることを目的とした活動を行います。



茎崎地区「夢まつり」の準備



地区委員会



地区懇談会（茎崎地区）



筑波山登山（大穂地区）



うまいものを作って食べる会（豊里地区）

## ランク審査委員会

剪定や除草に関する研修を行い、技能審査を通じ、技能・安全意識の向上や後継者育成に努めています。



草刈り講習会



草刈り検定試験



剪定技能検定試験

## 女性活躍委員会

女性会員の拡大と活動の活発化を図り、女性向けの講習会や親睦会を開催し、小物作りを行って近隣小学校に寄贈しています。



女性のつどい／警察による講演



女性のつどい／美容講習会



小学校に雑巾を寄贈



女性限定入会説明会



フラワーアレンジメント講習会



講習会で完成したクリスマスキャンドル



小物づくり



手作り作品と共に



手作りの草履や巾着袋など

## 地区活動・ボランティア活動

それぞれの地区で、会員同士の親睦を深める活動や、地域交流の一環としてボランティア活動をしています。



まつりつくば／スライムの準備



まつりつくば／野菜販売



小学校の環境整備



アフリカンダンス（大穂地区）



アダプト・ア・パーク（荃崎地区）



なかよし会（谷田部地区）



おもちゃドクター／壊れたおもちゃを修理



中学生に自転車修理の授業



みかん狩り（筑波地区）



アダプト・ア・パーク（桜地区）



脳トレ運動（豊里地区）

## 技能講習会

各種技能の講習会を行い、会員のスキルアップを図るとともに近隣の方も参加する交流の場にもなっています。



剪定講習会／受講者の皆さん



垣根の取り付け講習



草刈り講習会／機械点検



剪定講習会



障子貼り講習会



障子貼り講習会



接客・接遇講習会



食生活改善推進（豊里地区）



食生活改善推進（谷田部地区）

## 会員の就業

会員の皆さんは、日々多種多様な仕事に励み、さまざまな場所で協力し合い、地域に貢献しています。



放射能測定



新米の抜き取り検査



障子貼り



福祉施設玄関の窓ふき



ふすま貼り



駐輪場の自転車台数をカウント



高齢者のお宅に丸洗い布団を配送



管理施設の窓ふき



灯油販売



駐輪場の受付業務



駐輪場の風景



中古車センターでの洗車



道路工事資材の貸し出しと回収



空き家の現況調査



「作業中」を示す表示板



家畜の管理



伐採



病院での院内配送



企業の受付窓口



施設の床清掃



ゴルフバッグの配備



草花の管理



スーパーの買物カゴ整理



スーパーの品出し



草刈り前の準備



草刈り



桑畑の除草



聖地公苑管理



除草



スーパーのお惣菜作り



施設管理エレベーター清掃



子どもたちをお預かりする「きずな」の皆さん

## きずな開設 奮闘録



- 子育て事業の先進地域、草加市等のシルバー人材センターの視察で研修などを計画。
- カピオ併設の建物等の候補から、最終的に谷田部老人福祉センターの一室を借用した。
- 改修費、棚などの什器の初期費用のために茨城県シ連の「地域ニーズ対応事業」、市の「次世代育成支援対策行動計画・後期計画（平成22年度～平成26年度）」へ申請を行った。



きずな施設長  
小倉 武子

開設当初には苦労しました。開設自体の白紙化や、認可が降りない危機がありました。また、預かるお子様も少数でした。しかし、常陽リビング掲載や口コミで徐々にお子様の数が増え、2017年には神奈川県から視察研修もありました。コロナ禍で休業を余儀なくされることもありますが、今後も地域に密着した存在であり続けます。



つくば駅前拠点



筑波大学構内拠点



中学生に自転車修理の授業



自転車事業部  
清水 英一

2021年の「自転車安全整備士」の試験で合格いたしました。自転車部の一員として働くうえで、知識や腕前の証明をしたいと受験を決意しました。試験のなかでは組み立ての実技で苦勞しました。どこに不足しているところがあるか、先輩の指導を受けて改善しました。皆様も「やるんだったら本気で」の意気込みで頑張っていきましょう。



## 自転車部 筑波大学作業場の変遷

- 2014年  
大学内でアイサイクル事業の構想が持ち上がる。事業用の建物を建設し、その中での就業を念頭に、学内に作業場を設ける。
- 2017年  
学内のグローバルヴィレッジ内の1室を家賃無料で借り受けられることになる。
- 2021年  
大学より許可が降りたため、プレハブを設置し、作業環境改善を行う。

## つくば市シルバー人材センター 10周年までの足跡

### ～誕生～（平成3年度～5年度）

平成4年2月5日つくば市シルバー人材センターが設立された。平成3年4月1日の準備室設置から約10ヵ月の準備期間の末であ



設立3周年記念式典



設立記念祝賀会

た。その後ワープロ教室を中心とした技能研修や、潮来町・会津若松市の先進シルバー人材センターの視察研修など運営を軌道に乗せるべく努めた。その結果、平成5年度の設立3周年記念式典を迎えるころには会員も300人を超えるまでに成長した。

### ～躍進～（平成6年度～9年度）

平成6年度からは安全就業委員会だけでなく、広報・事業・総務の部会が結成された。また平成8年度には鹿嶋市シルバー人材センターの自転車リサイクル事業や、しめ縄・門松づくりを視察し、翌年度にリサイクル自転車販売や正月用飾りの作成などの実践を行った。これは現在独自事業として成長している、自転車事業部の萌芽であった。平成9年度になると受注件数は2,000件を超え、就業実績も1億円を超えた。



しめ縄作成作業

### ～発展～（平成10年度～12年度）

平成10年度からはシニアワークプログラム事業を開始した。ビルメンテナンス技能やホームヘルパー3級など、様々な技能習得の機会となった。平成11年6月24日には、光栄なことに全国シルバー人材センターの総会で行なわれたつくば市シルバー人材センターが表彰された。10周年記念式典を迎える平成12年度には収益が1億5,000万円を超えるほどに成長した。また、今も続くアダプト・ア・パークも開始されることになった。



ホームヘルパー3級講習会

## 荃崎町シルバー人材センターのあゆみ

〈平成3年10月16日～平成15年5月8日〉

### つくば市SC・荃崎町SCの 合併調停までの経緯

#### 理由

つくば市への荃崎町編入合併に伴い、1つの市にシルバー人材センターが2つある状態になる。これは昭46法68第37条に反するとともに、市民サービスで混乱を起こす恐れがあったため。

#### 平成14年7月19日

統合準備会開催。合併協議会設置の協議の結果、毎月1回の開催や市高齢福祉課長の参加などが合意された。

#### 平成14年9月10日

第1回の合併協議会開催。合併の期日や、合併ではなく編入という形にすることなどが合意された。

#### 平成14年10月16日

第2回の合併協議会開催。荃崎町の理事・監事・職員の身分の取り扱い、配分金の統一などが合意された。

#### 平成14年11月21日

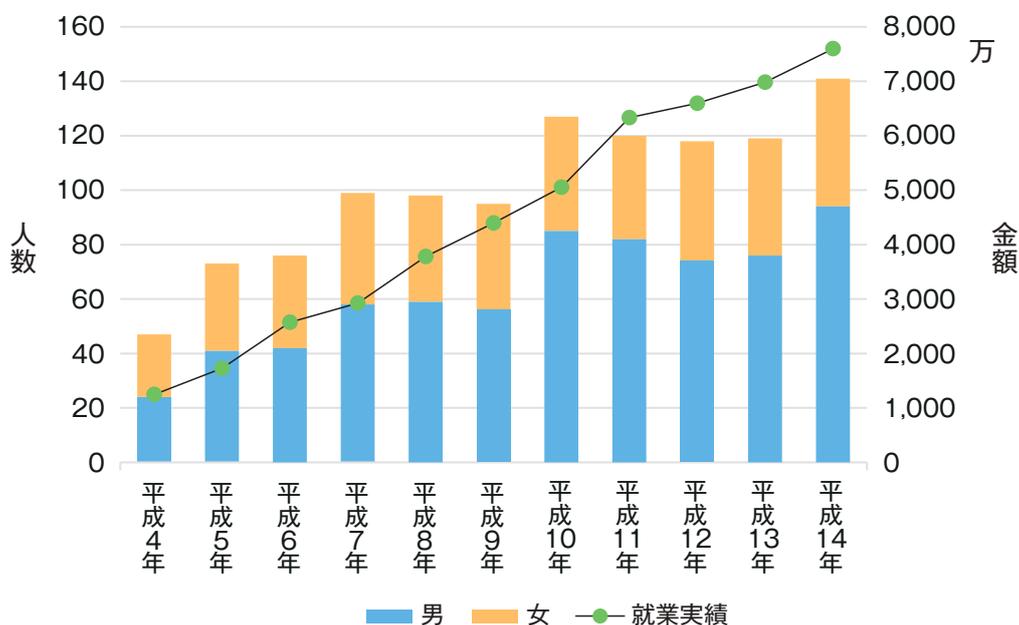
第3回の合併協議会開催。合併協定書の案や交通費などの未調整の配分金について合意された。

#### 平成15年2月12日

つくば市長公室で合併調印式が開かれ、協定書に調印がされた。

年度	月日	主なトピック
平成3年	10月16日	荃崎町役場生活福祉課内 荃崎町ミニシルバー人材センター設立
平成4年	4月27日	レイクサイドくさざき作業見学会
	7月2日	鹿島町人材センター視察
平成5年	9月29日	実技講習会(襖張り・2日間)
	10月20日	実技講習会(植木・剪定・2日間)
平成7年	4月22日	事務局移転荃崎町福祉交流センター
	12月26日	県・役員研修会
平成8年	2月1日	「ミニシル情報誌」1号発刊
	3月1日	新規事業開発荃崎町所在林野庁 森林総合研究所訪問
平成11年	5月31日	名称変更荃崎町シルバー人材センターに
平成12年	11月13日	レイクサイドくさざきで10周年記念式典
平成13年	7月9日	野外研修センターの薪の収入 5万円を福祉交流センターに寄付
平成14年	9月10日	第1回合併協議会開催
平成15年	2月12日	合併協議会プレス発表
	3月31日	荃崎町シルバー人材センター解散
	5月8日	レイクサイドくさざきにて解散式典

## 荳崎町シルバー人材センター就業実績



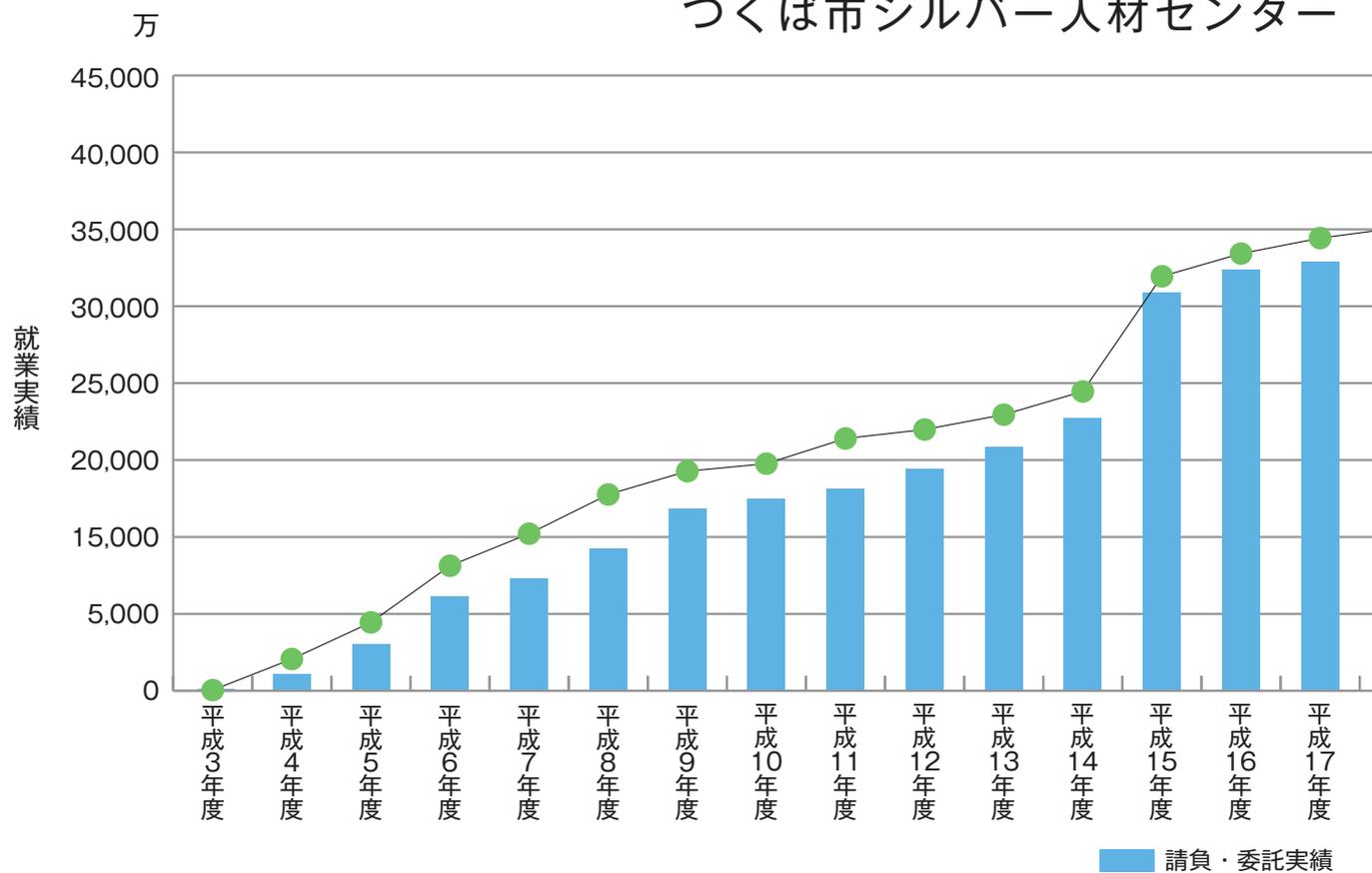
	男	女	合計	就業実績
平成3年		41		649,307
平成4年	24	23	47	12,460,631
平成5年	41	32	73	17,263,245
平成6年	42	34	76	25,708,895
平成7年	58	41	99	29,237,841
平成8年	59	39	98	37,836,781
平成9年	56	39	95	43,966,145
平成10年	85	42	127	50,539,370
平成11年	82	38	120	63,341,597
平成12年	74	44	118	65,939,443
平成13年	76	43	119	69,858,652
平成14年	94	47	141	75,965,044

※平成3年は10月16日からの集計となる。男女の内訳は不明。

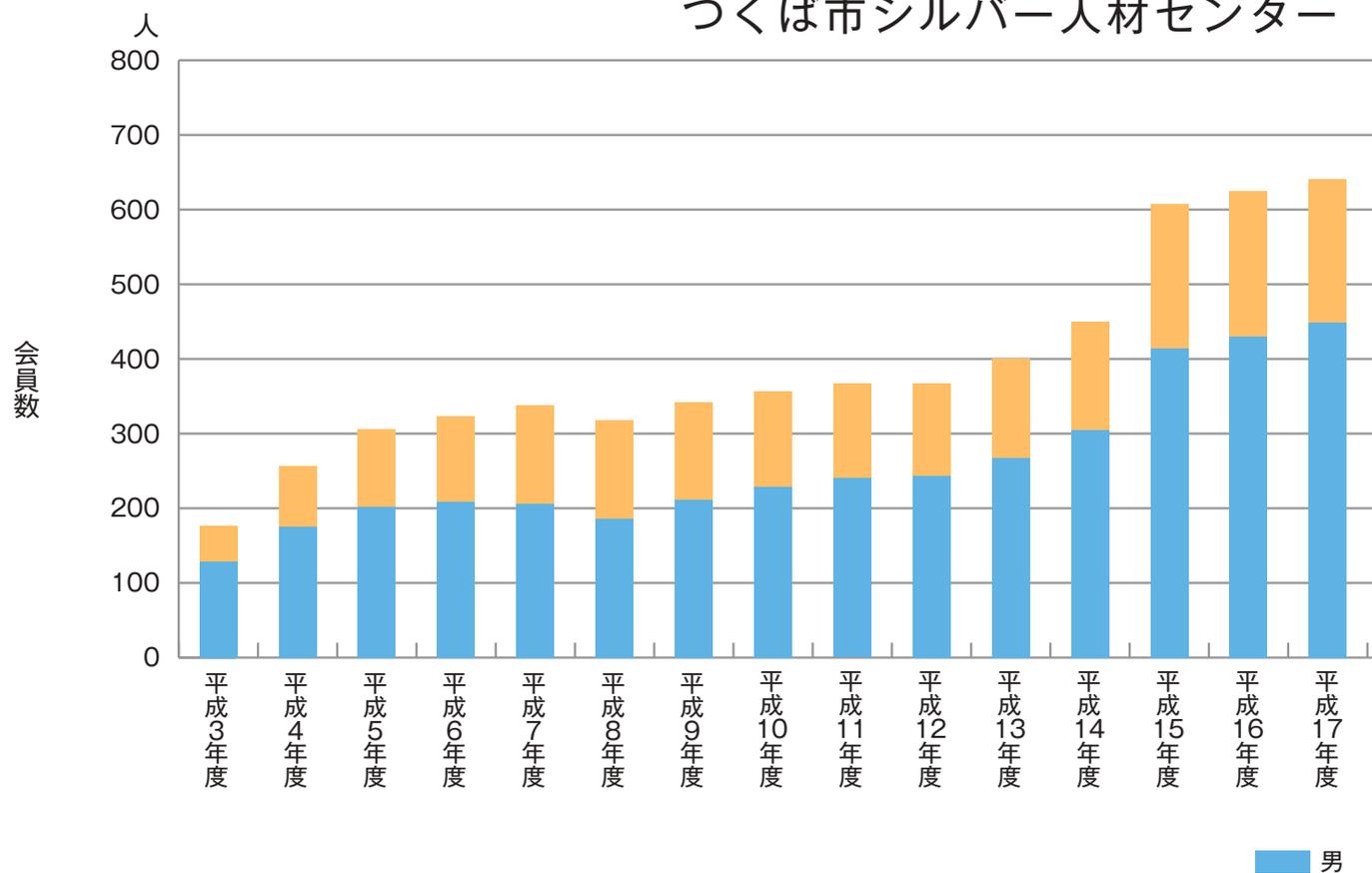
	理事長	副理事
平成4年	大貫光男	植松清義 谷内田義雄
平成5年	大貫光男	
平成6年	大貫光男	
平成7年	大貫光男	
平成8年	大貫光男	植松清義 嶋口勝義
平成9年	大貫光男	植松清義 嶋口勝義
平成10年	大貫光男	植松清義 嶋口勝義
平成11年	大貫光男	植松清義 嶋口勝義
平成12年	大貫光男	植松清義 嶋口勝義
平成13年	大貫光男	植松清義 嶋口勝義
平成14年	嶋口勝義	川名岩夫

※不明箇所空欄

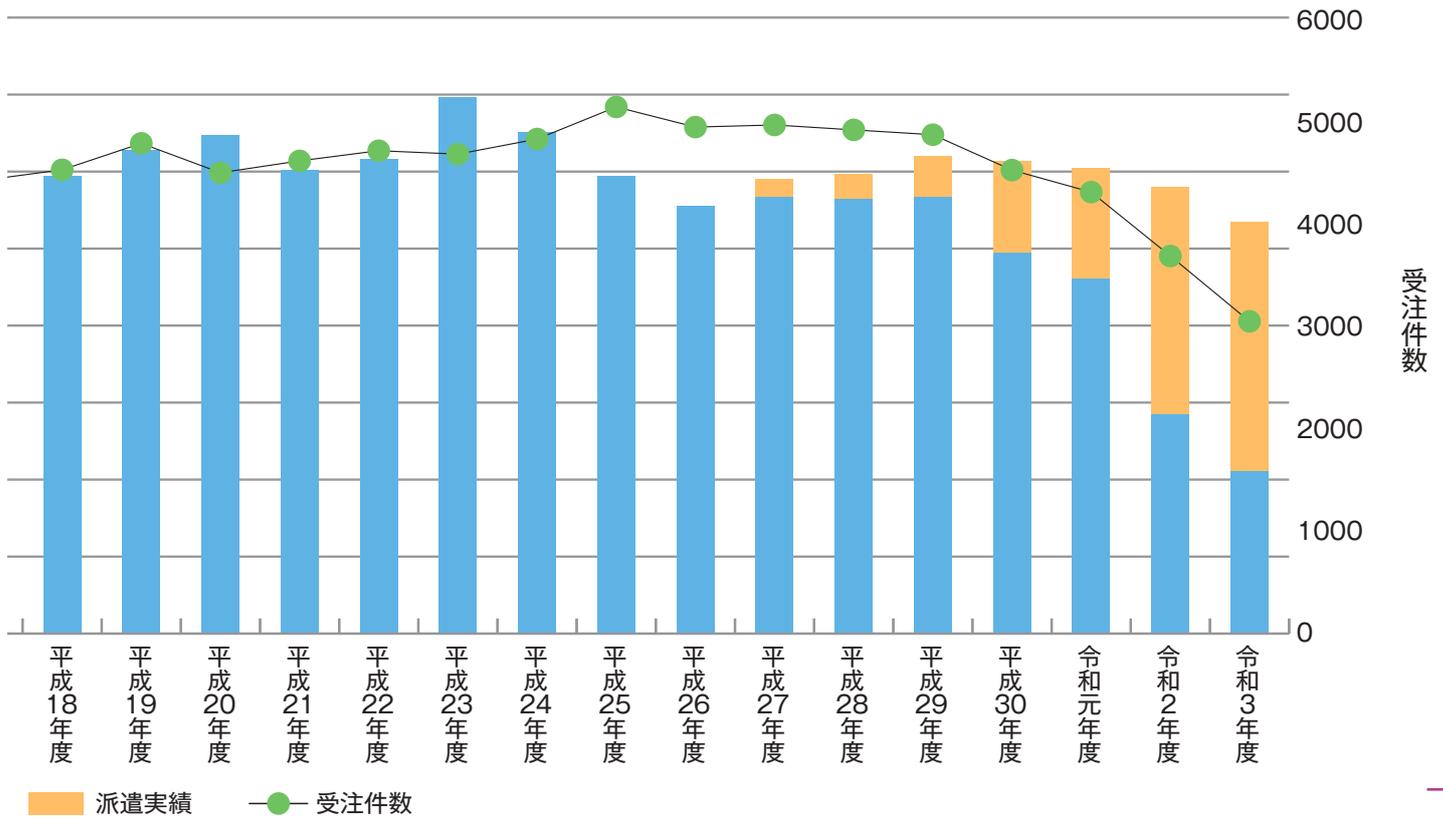
## つくば市シルバー人材センター



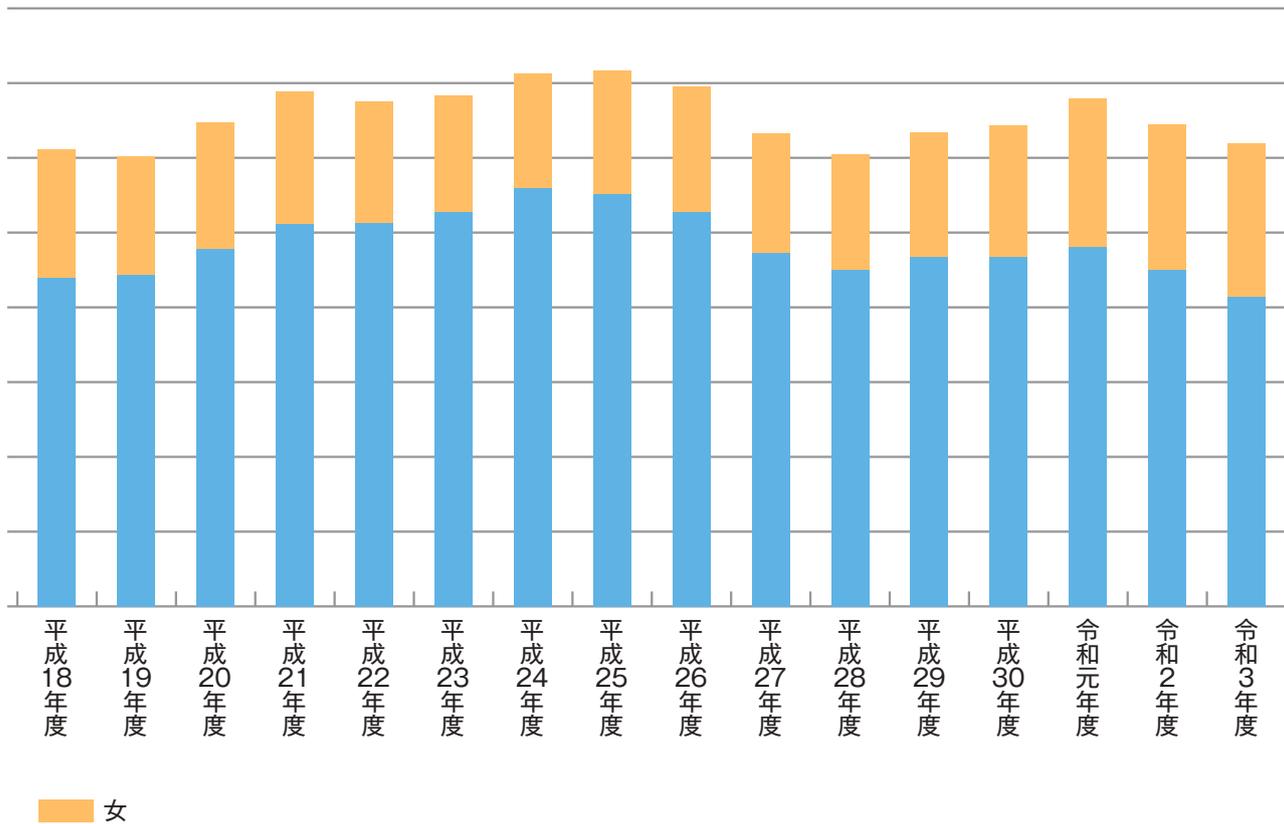
## つくば市シルバー人材センター



## 30年間の就業実績と受注件数



## 30年間の会員数の推移



## 受注内訳

委任・請負受注先の内訳 (システムデータより)		公共事業	公社公団等	民間事業所	一般・家庭	独自事業	受注合計
平成8年度	件数	535	84	732	1,654	2	3,007
	金額	46,733,064	1,637,078	31,017,283	25,927,605	566,000	105,881,030
平成9年度	件数	383	117	459	1,208	19	2,186
	金額	53,822,075	16,107,969	31,872,317	31,161,461	2,515,438	135,479,260
平成10年度	件数	412	131	463	1,246	19	2,271
	金額	50,710,821	21,471,016	35,671,112	34,216,374	1,050,098	143,119,421
平成11年度	件数	464	128	446	1,460	13	2,511
	金額	55,320,301	21,594,267	36,793,558	35,944,002	1,112,650	150,764,778
平成12年度	件数	482	128	410	1,568	14	2,602
	金額	57,606,048	24,551,396	41,059,536	41,142,909	873,198	165,233,087
平成13年度	件数	506	164	454	1,613	12	2,749
	金額	66,442,906	31,578,312	42,562,846	40,758,140	592,806	181,935,010
平成14年度	件数	553	122	486	1,805	14	2,980
	金額	86,419,290	27,850,838	41,349,020	45,465,751	485,114	201,570,013
平成15年度	件数	882	175	658	2,412	12	4,139
	金額	134,108,039	34,672,892	65,925,709	60,318,527	3,834,436	298,859,603
平成16年度	件数	897	187	760	2,484	29	4,357
	金額	135,149,996	38,423,187	82,614,029	60,948,919	4,728,776	321,864,907
平成17年度	件数	860	192	828	2,602	39	4,521
	金額	115,704,799	39,414,968	92,774,877	70,867,390	4,538,853	323,300,887
平成18年度	件数	711	205	1,041	2,727	0	4,684
	金額	86,170,963	42,738,996	129,773,266	82,396,201	0	341,079,426
平成19年度	件数	689	179	1,203	2,791	13	4,875
	金額	90,038,887	36,670,685	142,659,958	89,587,004	1,778,050	360,734,584
平成20年度	件数	635	182	1,289	2,466	13	4,585
	金額	72,771,152	32,725,811	182,220,825	81,767,361	1,756,096	371,241,245
平成21年度	件数	686	127	1,147	2,731	10	4,701
	金額	78,643,782	20,191,500	162,987,946	83,963,997	107,856	345,895,081
平成22年度	件数	715	111	1,240	2,731	5	4,802
	金額	87,930,738	15,002,833	176,823,753	73,711,837	13,942	353,483,103
平成23年度	件数	687	105	1,171	2,786	20	4,769
	金額	144,089,272	15,885,790	164,702,981	73,906,462	1,025,475	399,609,980
平成24年度	件数	728	127	1,116	2,935	12	4,918
	金額	109,473,745	17,562,229	162,382,298	79,470,277	4,749,490	373,638,039
平成25年度	件数	650	114	1,187	3,277	9	5,237
	金額	64,705,421	16,470,142	169,259,364	88,200,236	2,553,835	341,188,998
平成26年度	件数	674	93	1,016	3,239	17	5,039
	金額	69,956,050	12,411,133	141,867,445	89,235,908	5,134,256	318,604,792
平成27年度	件数	667	81	1,010	3,277	24	5,059
	金額	73,146,036	11,634,182	148,118,834	85,580,269	7,143,473	325,622,794
平成28年度	件数	674	88	968	3,255	24	5,009
	金額	74,579,126	12,283,874	141,497,662	87,730,811	8,207,912	324,299,385
平成29年度	件数	730	85	901	3,221	24	4,961
	金額	84,944,875	9,683,889	138,796,253	83,125,576	8,987,072	325,537,665
平成30年度	件数	720	69	748	3,048	24	4,609
	金額	86,159,321	10,637,125	95,459,098	80,198,942	11,547,029	284,001,515
令和元年度	件数	636	64	642	3,024	24	4,390
	金額	88,596,186	9,094,497	80,625,183	74,008,976	12,053,244	264,378,086
令和2年度	件数	365	30	389	2,948	23	3,755
	金額	35,205,333	3,546,702	41,631,579	76,417,965	6,282,761	163,084,340
令和3年度	件数	224	29	322	2,698	21	3,294
	金額	23,626,779	4,028,031	23,760,039	61,787,530	7,890,154	121,092,533

※件数は件、金額は円が単位

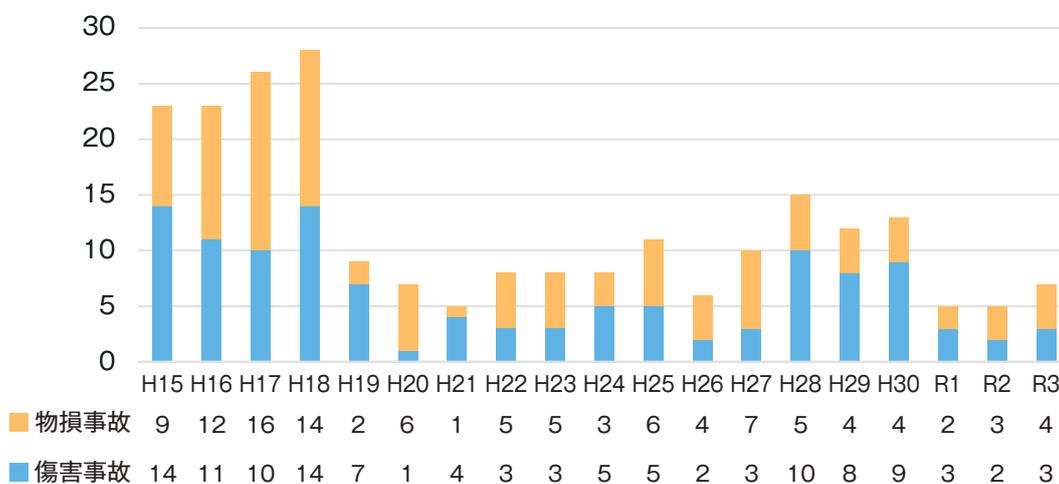
## 就業実績と会員数の変遷

就業実績	委任・請負	派遣	合計	男性	女性	合計
平成3年度	66,570	0	66,570	129	47	176
平成4年度	12,064,133	0	12,064,133	175	82	257
平成5年度	34,324,012	0	34,324,012	202	104	306
平成6年度	70,227,093	0	70,227,093	209	114	323
平成7年度	83,391,925	0	83,391,925	206	131	337
平成8年度	106,361,375	0	106,361,375	186	132	318
平成9年度	135,397,483	0	135,397,483	211	131	342
平成10年度	143,305,726	0	143,305,726	229	127	356
平成11年度	150,870,417	0	150,870,417	240	128	368
平成12年度	165,246,087	0	165,246,087	243	124	367
平成13年度	181,935,010	0	181,935,010	267	134	401
平成14年度	203,697,219	0	203,697,219	305	145	450
平成15年度	297,279,827	0	297,279,827	414	193	607
平成16年度	314,423,654	0	314,423,654	430	194	624
平成17年度	320,125,842	0	320,125,842	449	192	641
平成18年度	340,906,512	0	340,906,512	439	172	611
平成19年度	360,721,258	0	360,721,258	443	159	602
平成20年度	371,241,245	0	371,241,245	478	169	647
平成21年度	345,895,081	0	345,895,081	511	178	689
平成22年度	353,483,103	0	353,483,103	513	162	675
平成23年度	399,609,980	0	399,609,980	527	156	683
平成24年度	373,638,669	0	373,638,669	560	153	713
平成25年度	341,188,998	0	341,188,998	552	165	717
平成26年度	318,604,792	0	318,604,792	527	168	695
平成27年度	325,622,794	13,555,687	339,178,481	473	159	632
平成28年度	324,299,385	18,162,017	342,461,402	450	155	605
平成29年度	325,537,665	30,401,093	355,938,758	467	167	634
平成30年度	284,001,515	68,588,053	352,589,568	467	176	643
令和元年度	264,378,086	83,292,645	347,670,731	481	198	679
令和2年度	163,084,340	169,874,780	332,959,120	450	194	644
令和3年度	121,092,533	185,812,615	306,905,148	414	205	619

※委任・請負、派遣は円、男性、女性は人が単位

## 無事故を目指して

## 事故件数



## 歴代安全標語



年度	会員	最優秀賞
H17	宮本 和夫	若くない 無理な姿勢が ケガのもと
H18	土田 實	作業前 安全確認 もう一度
H19	秋山 善昭	事故防止 一人ひとりの 心掛け
H20	後神 佐々子	無理するな 声掛け合って 事故防止
H21	橋本 重則	気を抜くな 慣れと過信が 事故を呼ぶ
H22	山本 明	一声を 掛ける勇気と 思いやり
H23	後神 佐々子	声掛けて 安全確認 もう一度
H24	大山 喜一	ペア作業 絆を活かし 無災害
H25	川村 山寿	安全は 急がずあせらず 慎重に
H26	宮本 さよ子	慣れた作業に落とし穴 初心に戻って 安全確認
H27	慶野 栄子	大丈夫 自信過剰は 事故のもと
H28	太田 元	作業前 かならずやろう 点検確認
H29	椎名 次男	安全を思う ゆとりの ある仕事
H30	岩田 光夫	事故招く あせる気持ちに ゆとりなし
R1	野田たま子	安全は 仲良く 互いに助け合い
R2	坂本 英久	急ぐ心 余裕の無さが 事故を呼ぶ
R3	西原 静江	安全は 年中無休で 油断せず
R4	椎名 次男	もうしない 夢で良かった あの怖さ

# 広報誌

シルバーニュース

平成4年4月設立～平成24年7月



きずな

平成24年8月～現在に至る



事務局だより

平成17年11月～現在に至る



資料

## 歴代役員一覧

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
理事長	高野 芳久	嶋口 勝義	嶋口 勝義	川名 岩夫	川名 岩夫	中山 法也	中山 法也	中山 法也	中山 法也	中 博史
副理事長	高田 恵	川名 岩夫	川名 岩夫	上原 辰三	上原 辰三	岡田 征男	岡田 征男	中 博史	中 博史	板橋 正雄
副理事	嶋口 勝義	川崎 輝雄	川崎 輝雄	渡邊 正男	渡邊 正男					
常務理事	中島 正紀	中島 正紀	志村 宗司	志村 宗司	志村 宗司	矢口 薫	矢口 薫			
監事	猪瀬 義郎	須賀 新治	須賀 新治	佐藤 淳	佐藤 淳	佐藤 淳	佐藤 淳	田中耕太郎	田中耕太郎	細田 市郎
監事	齊藤 邦朗	山越 行徳	山越 行徳	久保田 勝	久保田 勝	宮本 孝男				
監事		岡谷 輝雄	岡谷 輝雄	岡谷 輝雄	岡谷 輝雄					
理事	田村 只雄	木本 源一	木本 源一	清水 勇	清水 勇	野村 一男	野村 一男	野村 一男	野村 一男	白井 キイ
理事	川名 岩夫	堤 慧	堤 慧	速水十四江	速水十四江	矢口 岩吉	矢口 岩吉	矢口 岩吉	矢口 岩吉	宮島 利平
理事	石川 進	三谷幸次郎	三谷幸次郎	三谷幸次郎	三谷幸次郎	安齊 キン	安齊 キン	中島 肇	中島 肇	中島 肇
理事	沼尻 資男	沢辺 正男	沢辺 正男	柳田 節義	柳田 節義	藤田 清信	藤田 清信	太田 武夫	太田 武夫	太田 武夫
理事	栗山 幸夫	山田敬一郎	山田敬一郎	浅野富貴子	浅野富貴子	上原 辰三	上原 辰三	小倉 武子	小倉 武子	小倉 武子
理事	野島 精治	佐藤 利雄	佐藤 利雄	田中 久	田中 久	桜井 廸子	桜井 廸子	桜井 廸子	桜井 廸子	狩谷 正
理事	川崎 輝雄	伊藤 幹雄	伊藤 幹雄	伊藤 幹雄	伊藤 幹雄	佐藤喜三郎	佐藤喜三郎	猪瀬 忠彦	猪瀬 忠彦	高橋 修
理事	倉持 りい	上原 辰三	上原 辰三	飯島 啓吉	飯島 啓吉	倉田 忠良	倉田 忠良	金井 久子	金井 久子	金井 久子
理事	長岡 忠道	稲葉 健	寺嶋 恵之	寺嶋 恵之	新田 敬一					
理事	木村新之助	関 八十郎	門奈 保時	門奈 保時		寺嶋 恵之	寺嶋 恵之	別所 隆	別所 隆	別所 隆
理事	大塚 清	清水 勇	清水 勇	青木 章	青木 章	秋山 善昭	秋山 善昭	加地 浩成	加地 浩成	柴田 清美
理事	國府田芳三			藤田 清信	藤田 清信	杉山 源二	杉山 源二			
理事	初沢 英男			秋山 善昭	秋山 善昭	澤邊 正男	澤邊 正男			
理事	猪瀬 清			伊藤 清子	伊藤 清子	遠山多江子	遠山多江子			
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
理事長	板橋 正雄	八巻 照雄	橋本 憲明	橋本 憲明	橋本 憲明	宇都宮 章	宇都宮 章	尾台 昌治	尾台 昌治	
副理事長	別所 隆	新田 敬一	梅田 三郎	梅田 三郎	青木 享司	蛭田 遼	岩田 光夫	成島 和子	成島 和子	
常務理事	神立 又一									
監事	細田 市郎	細田 市郎	細田 市郎	中島 肇	中島 肇	中島 肇	中島 肇	山峰 國彦	山峰 國彦	
監事	宮本 孝男	宮本 孝男	宮本 孝男	遠藤 忠	遠藤 忠	金子 和雄	金子 和雄	金子 和雄	金子 和雄	
理事	白井 キイ	白井 キイ	白井 キイ	大久保勝弘	大久保勝弘	青木 享司	青木 享司	深谷 淳一	深谷 淳一	
理事	宮島 利平	宮島 利平	宮島 利平	宇都宮 章	宇都宮 章	尾台 昌治	尾台 昌治	武井 義	武井 義	
理事	中島 肇	黒澤 弘志	黒澤 弘志	黒澤 弘志	黒澤 弘志	細淵 賢三	細淵 賢三	薬師寺晴美	薬師寺晴美	
理事	太田 武夫	高野 島子	高野 島子	藤田美代子	藤田美代子	太田 定夫	太田 定夫	土田禎太郎	土田禎太郎	
理事	小倉 武子	福田 征男	福田 征男	福田 征男	福田 征男	成島 和子	成島 和子	大塚 誠	大塚 誠	
理事	狩谷 正	金子 和雄	金子 和雄	金子 和雄	金子 和雄	里信 隆義	里信 隆義	里信 隆義	里信 隆義	
理事	高橋 修	皆見 邦子	皆見 邦子	皆見 邦子	皆見 邦子	原山 保春	原山 保春			
理事	金井 久子	山内 衛	山内 衛	山内 衛	山内 衛	坂入 茂男	坂入 茂男			
理事	新田 敬一	橋本 憲明	新田 敬一	岩田 光夫	岩田 光夫	岩田 光夫	山口真知子			
理事		大久保勝弘	大久保勝弘	高野 島子	高野 島子		磯部 隆秀	磯部 隆秀	酒井 清貴	
理事		梅田 三郎		青木 享司			小杉 晴彦	小杉 晴彦	小杉 晴彦	
理事							真尾 絹子	真尾 絹子	真尾 絹子	

※平成 21 年までは第 2 回総会、それ以降は第 1 回総会終了時点での理事・監事となる。

## 編集後記

設立30周年記念事業の企画において、令和3年4月15日に「30周年記念事業実行委員会」が結成され、その1つとして記念誌の刊行が決まりました。設立30周年記念誌は、設立3周年記念式典（平成6年3月）、設立10周年記念誌（平成13年3月）に続くものです。

発刊のねらいは、当センターが高齢者が就業を通じて社会に貢献し、生きがいを得ていく機会を確保する場として期待され、発展してきたことを省みつつ、将来のさらなる発展のため、活動の現状を紹介することにあります。作成にあたっては、写真を多用して見やすいものにすることを心がけました。

資料の収集・制作にあたりご協力いただいた諸先輩や関係各位の皆様には厚くお礼申し上げます。また、企画・制作にご尽力いただきました事務局および朝日印刷株式会社に心から感謝いたします。

2022年5月吉日 設立30周年記念事業実行委員会

記念誌発行分科会		催事実行分科会	
尾台 昌治	理事長	成島 和子	副理事長
土田 禎太郎	理事	小杉 晴彦	理事
薬師寺 晴美	理事	深谷 淳一	理事
大塚 誠	理事	里信 隆義	理事
加地 浩成	委員	土田 禎太郎	理事
原山 保春	委員	真尾 絹子	理事
古橋 正樹	委員	武井 義	理事
吉岡 博人	委員	酒井 清貴	理事
吉岡 美知子	委員	磯部 隆秀	委員
		村野 四郎	委員
		小倉 武子	委員

## 公益社団法人つくば市シルバー人材センター 設立30周年記念誌

- 発行日 2022年5月20日
- 著作・編集 公益社団法人つくば市シルバー人材センター  
30周年記念誌発行分科会  
〒300-3257 つくば市筑穂1-10-4  
TEL：029-879-5199 FAX：029-879-5198  
メール：tsukuba.sjc.@sunny.ocn.ne.jp  
ホームページ：https://tsukuba-sjc.or.jp

※センターの紹介動画を右のQRコードからYoutubeでご覧いただけます！





# 設立30周年記念誌

つくば市シルバー人材センター